

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
公津の杜駅周辺地区

令和3年2月

千葉県成田市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
指標1	公津の杜駅の利用者数	(人/日)	10,134	11,000	14,652	確定 見込み	○	あり なし	-	14,034	R2年12月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	国際医療福祉大学の設置により、公津の杜駅の利用者数の増加に繋がったと考えられる。
指標2	公津の杜複合施設(図書館)利用者数	(人)	74,556	77,300	79,390	確定 見込み	○	あり なし	-	74,028	R2年12月	×	新型コロナウイルス感染症の流行に伴う対策として、図書館におけるイベントの中止やサービスの一部休止を行った関係で、利用者数が大幅に減少したと考えられる。 <input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	社会情勢の変化により目標値は達成しなかったが、平成27～30年度の数値においては目標値を達成しており、一定の成果が認められる。
指標3	区域内の人口密度	(人/ha)	77	77	86	確定 見込み	○	あり なし	-	84	R2年12月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	国際医療福祉大学の設置により、公津の杜地区の定住者が増加し、地区の人口密度の維持に繋がったと考えられる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年 月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	駅前空間の活用	駅前空間を活用した地域交流イベントの開催など、駅周辺のオープンスペースの活用を推進している。	学生と地域が交流し、にぎわいのあるまちづくりが進められている。	
	大学と連携した地域交流の推進	国際医療福祉大学と地域との連携事業を推進している。	連携事業の推進により、学びの場や地域活力の創出につながっている。	
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	快適な住環境の形成	公園遊具等の整備や自転車通行帯の整備を進めている。	現在事業実施中となっている。	

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項